

かつしげざくら えりなみ
「勝茂桜」、「絵里波」の2頭を県基幹種雄牛に選抜

—全国トップレベルの種雄牛が今年度も誕生—

枝肉重量において歴代1位となった「勝茂桜」、「洋系波」の初の後継牛である「絵里波」の2頭が県基幹種雄牛に選抜されましたのでお知らせします。

1 プロフィール

「勝茂桜」

生年月日 平成29年11月20日
父 勝早桜5
母 かまふく
母の父 茂洋
母の母の父 勝忠平
生産地 登米市迫町
飼養場所 宮城県畜産試験場



「絵里波」

生年月日 平成30年4月20日
父 洋糸波
母 えりこ
母の父 百合茂
母の母の父 安福久
生産地 栗原市一迫
飼養場所 宮城県畜産試験場



2 概要

- ・「勝茂桜」及び「絵里波」は、産肉能力がきわめて優れていることから、宮城県肉用牛改良委員会において、基幹種雄牛として選抜されました。
- ・「勝茂桜」は、種雄牛の能力を評価するための現場後代検定において、枝肉重量（一頭当たりの肉量）が県歴代1位、霜降りの度合い（脂肪交雑）が県歴代2位と質・量ともに優れた種雄牛です。検定材料牛17頭のうち、去勢牛11頭の平均枝肉重量は、605.2kgと初めて600kgを超えました。
- ・「勝茂桜」産子は、発育、体の伸び、資質、肋張が優れています。

- ・「絵里波」は、待望の「洋糸波」の初の後継基幹種雄牛です。
- ・「絵里波」産子は、発育、体積、釣合、体上線に優れており、体型の改良も期待できます。
- ・2頭とも肉用牛改良に活用することで、宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」の生産拡大の弾みとなります。
- ・2頭の家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

3 現場後代検定成績

	検定頭数	出荷月齢	枝肉重量(1) (kg)	ロース芯面積(2) (cm ²)	ばらの厚さ(3) (cm)	脂肪交雑(4) (BMS No.)	4,5等級率(5) (%)
勝茂桜	17	30.1	563.3	78.4	8.9	9.9	100
絵里波	22	30.3	502.2	76.3	8.5	9.5	100
全国平均(6)	69,907	29.4	491.0	65.1	8.1	7.8	-

(1)から(5)全て 数値が大きい方が良い。(4)サシや霜降りの指標であり、1から12までの12段階で評価される。

(5)上物率とも呼ばれる。(6)令和元年から令和4年3月まで広域後代検定(19道県 種雄牛154頭)の成績。

4 取材にあたっての注意事項

家畜防疫上、畜産試験場内及び生産者への立ち入りはできません。取材は畜産課で対応いたします。